

資料1 第5次東郷町総合計画の施策進捗状況

■総括表

■総括表		評価点が高いもの(上位5項目)					評価点が高いもの(下位5項目)											
基本目標	基本施策	①目標指標の達成状況					②施策の推進状況					③住民意向調査結果					総合評価 (12点満点)	順位 (全34位)
		各達成度の指標数				評価点の 平均値	各達成度の施策の展開方向の数				評価点の 平均値	満足度		満足度の評価点		評価点の 平均値		
		◎	○	△	×		A	B	C	D		取り組み1	取り組み2	取り組み1	取り組み2			
Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち	1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	1	1	3	0	2.6	6	11	0	0	3.4	0.27	－	4	－	4.0	10.0	2
	2 安心して医療を受けられる体制をつくる	0	1	1	0	2.5	6	1	0	0	3.9	－0.39	－	1	－	1.0	7.4	22
	3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる	1	0	1	0	3.0	1	6	1	0	3.0	0.004	－	3	－	3.0	9.0	8
	4 社会保障制度を適切に運用する	0	0	2	0	2.0	8	4	0	0	3.7	－0.02	－	2	－	2.0	7.7	19
	5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る	0	1	1	1	2.0	5	8	0	0	3.4	0.04	－	3	－	3.0	8.4	15
	6 安心して子育てができる環境をつくる	1	0	0	2	2.0	6	5	1	0	3.4	0.23	－	4	－	4.0	9.4	5
Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、 交流が活発なまち	1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る	0	0	2	1	1.7	4	7	0	0	3.4	0.08	－	4	－	4.0	9.0	7
	2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する	1	1	1	1	2.5	1	4	1	2	2.5	0.06	－	4	－	4.0	9.0	8
	3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む	1	0	1	1	2.3	0	5	0	0	3.0	0.06	－	4	－	4.0	9.3	6
	4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える	0	3	0	0	3.0	1	4	0	0	3.2	0.13	－	4	－	4.0	10.2	1
	5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する	0	1	1	1	2.0	5	2	1	1	3.2	0.04	－	3	－	3.0	8.2	17
	6 多文化の人々が共生できる社会をつくる	1	0	1	1	2.3	3	5	0	0	3.4	－0.11	－	1	－	1.0	6.7	29
	7 青少年の健全な育成を進める	0	0	2	0	2.0	0	3	0	0	3.0	0.02	－	3	－	3.0	8.0	18
Ⅲ 参画と協働で自立するまち	1 まちづくりに参加できる仕組みづくり、協働のまちづくりを進める	0	0	3	0	2.0	3	9	1	0	3.2	－0.01	－	2	－	2.0	7.2	25
	2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる	1	1	0	1	2.7	4	3	0	0	3.6	－0.02	－	2	－	2.0	8.2	16
	3 町民・行政相互の情報共有を推進する	1	0	2	0	2.7	0	6	0	0	3.0	－0.05	－	2	－	2.0	7.7	19
	4 効率的な行政運営を進める	2	0	0	1	3.0	3	7	0	0	3.3	0.32	－0.08	4	1	2.5	8.8	10
	5 広域連携の強化を進める	1	0	1	0	3.0	4	3	0	0	3.6	－0.15	－	1	－	1.0	7.6	21
	6 財政の健全化を進める	2	0	2	1	2.6	4	4	0	0	3.5	－0.14	－	1	－	1.0	7.1	26
Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち	1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する	0	0	2	1	1.7	4	4	2	1	3.0	0.54	－	4	－	4.0	8.7	12
	2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる	1	1	2	0	2.8	3	2	1	0	3.3	0.17	0.06	4	3	3.5	9.6	3
	3 災害に強いまちをつくる	1	0	2	1	2.3	5	7	1	0	3.3	0.02	－	3	－	3.0	8.6	13
	4 安心して消費生活が送れる体制を整える	1	0	0	1	2.5	4	0	0	0	4.0	－0.01	－	2	－	2.0	8.5	14
	5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる	0	1	0	3	1.5	0	9	1	0	2.9	－0.01	0	2	2	2.0	6.4	33
	6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める	0	1	1	1	2.0	0	3	2	0	2.6	－0.02	－	2	－	2.0	6.6	30
	7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる	0	1	1	1	2.0	0	4	1	0	2.8	0.4	－	4	－	4.0	8.8	10
Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち	1 地産池消により農業の活性化を目指す	0	2	2	1	2.2	0	4	3	0	2.6	0.03	－0.03	3	2	2.5	7.3	23
	2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める	1	1	1	0	3.0	1	3	1	0	3.0	－0.15	－0.18	1	1	1.0	7.0	27
	3 魅力ある市街地を整備する	0	1	2	0	2.3	1	3	2	0	2.8	－0.06	－	2	－	2.0	7.2	24
	4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる	0	1	0	2	1.7	2	4	3	1	2.7	－0.02	－	2	－	2.0	6.4	34
	5 美しい街並み景観のあるまちをつくる	0	1	0	0	3.0	0	4	2	1	2.4	－0.17	－	1	－	1.0	6.4	32
	6 安心して通行できる道路網を整備する	1	1	0	1	2.7	0	11	1	0	2.9	－0.33	－	1	－	1.0	6.6	31
	7 公共交通の利便性を高める	1	0	0	1	2.5	4	1	1	0	3.5	－0.57	－	1	－	1.0	7.0	27
	8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める	1	0	1	1	2.3	1	4	0	0	3.2	0.13	－	4	－	4.0	9.5	4

【点数の配分について】①目標指標の達成状況の評価点

◎	4点
○	3点
△	2点
×	1点

②施策の推進状況の評価点

A	4点
B	3点
C	2点
D	1点

③住民意向調査結果の評価点

0.06以上	4点
0.00～0.06	3点
-0.07～0.00	2点
-0.07以下	1点

※中央値を閾値とした

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 健康づくりなどの保健事業に満足している町民の割合	%	22.5	28.0	33.0	33.8	50.2%	102.4%		◎
ii 地区の健康講座参加者数	人	1,288	1,700	2,200	1,982	53.9%	90.1%		○
iii 胃がん検診受診率	%	8.3	30.0	50.0	13.7	65.1%	27.4%		△
iv 乳がん検診受診率	%	25.7	40.0	50.0	28.1	9.3%	56.2%		△
v 午後9時前に就寝する子どもの割合	%	27.5	40.0	50.0	27.9	1.5%	55.8%		△

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 一次予防の推進	◇ イーストラザいこまい館を拠点に、健康情報を発信するとともに、健康づくりの場を提供することで健康づくりを総合的に支援します。	健康推進課	とうごう体操の普及のため様々な団体に出前講座を実施しました。今後は企業や大学等と連携し、健康づくりを推進します。	B
	◇ ライフステージ(胎児・幼児期から高年期まで)ごとの健康課題に対する相談体制の充実など積極的に健康づくりや一次予防対策に取り組みます。	健康推進課	母子健康包括支援センターを開設しました。妊婦、乳幼児その保護者全てが対象であり、適時適切な情報提供や相談支援等切れ目ない支援を推進していきます。	B
(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進	◇ 町民が地域で主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進します。	健康推進課	トレーニングルーム及び水中トレーニング室等有料施設の利用者が年々増加しています。今後も利用者が増えるようにあらゆる機会を捉えて利用促進をしていきます。	B
	◇ 健康や生活習慣に関わる様々な関係者・関係団体がそれぞれの特性を生かしながら地域での健康づくりを支援します。	健康推進課	男性のための料理教室の自主グループを食生活改善推進員とともに立ち上げます。いきいき東郷21推進協議会を開催し、「いきいき東郷21(第2次)の進捗状況の及び今後の方針について話し合いました。	A
	◇ 地域での健康づくりを推進するボランティアの活動を支援します。	健康推進課	食生活改善推進員養成講座を3年に1度実施しています。今後も継続していきま	A
(3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立	◇ 乳がん自己検査法や子宮頸がん予防ワクチンを始め、がん予防に関する正しい知識の普及に努めます。	健康推進課	子宮頸がんワクチンについては積極的な勧奨は勧められていないため、今後の国の動きについて情報収集します。受診勧奨通知に乳がん自己検診法等の情報を記載し、周知に努めました。	B
	◇ がん検診の受診を促進し、早期発見・早期治療を支援します。	健康推進課	個別受診勧奨や再勧奨、かかりつけ医からの受診勧奨などあらゆる機会を捉えて受診勧奨を実施しました。併せてアプリを用いて検診を周知するなど新しい手法も検討します。	B
	◇ メタボ予防健診の受診を促進し、結果に応じて生活習慣の改善や悪化を防ぐための援助をします。	健康推進課	乳幼児健診の際20～39歳の方のための健診の周知をする他、子育てアプリを利用して若い世代に健診を周知します。	B
	◇ うつ病を予防するため、事業所などと連携して、メンタルヘルスに関する取組みを促進します。	健康推進課	「からだ・こころの健康相談」を毎週月曜日に実施し、電話相談を随時実施しています。メンタルチェックシステムを活用し、相談窓口の周知を行います。	B
(4) 感染症予防の推進	◇ 予防接種に関する正しい知識の普及を図り、接種率の向上に努めます。	健康推進課	適切な時期に接種できるよう情報提供を行っていきます。国が定期化を検討している予防接種について、情報収集及び実施体制を整備していきます。	A
	◇ 感染症予防についての正確な情報提供と意識啓発に努めます。	健康推進課	麻しんの流行を受け、初動時のマニュアルを作成しました。新型インフルエンザ等の感染症の発生を想定した訓練を継続実施します。	A
(5) 食育の推進	◇ 健康づくりセンターや児童館等において食育事業を実施し、子どもの成長過程における食生活や食習慣の大切さについて啓発します。	健康推進課	ランチルームで料理教室を開催し、食生活改善推進員の協力のもと、全児童館で食育講座を実施しました。また、食生活改善推進員が町内7保育園で食育に関する紙芝居を実施しました。今後も継続実施していきます。	A
		こども保育課	季節に合わせて食育活動を実施し、バランスの取れた食生活や規則正しい食習慣の大切さを子どもや保護者と考える機会を設けました。引き続き、子どもが楽しみながら取り組むことができるよう事業を継続します。	B
	◇ 保育課程における食育計画に基づき、食に対する関心が高まるようにします。	こども保育課	各保育園で季節を感じる食育活動を成長に合わせて実施し、食生活や食習慣の大切さについて知る機会を設けました。一部では、田植え等の農作業を体験するなどの工夫をしており、今後も継続実施していきます。	A
	◇ 学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校における食育の推進を図ります。また、給食への地場産物の活用を推進します。	給食センター	各小中学校、保育園において、栄養教諭、栄養士による栄養指導を行いました。また、給食における地元食材の提供を行っていきます。使用する地元食材の種類、提供回数の増加に努めます。	B
	◇ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を積極的に推進します。	学校教育課	「早寝・早起き・朝ごはん運動」は継続的に実施中です。今後も積極的に推進していきたいと思っています。	B
	◇ 自然の恩恵に感謝し、食に関わる活動への理解を深めるために、学校等において農作業体験を進めます。	学校教育課	「総合的な学習の時間」「生活科」「特別活動」等を通して、学校の現状に合わせて、農業体験を進めています。また、道徳等において、自然の恩恵に感謝する気持ちを高めています。	B
				B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.27点	重要度	0.97点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

2 安心して医療を受けられる体制をつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 夜間や休日の医療体制に満足している町民の割合	%	8.7	14.0	19.0	15.5	78.2%	81.6%		○
ii 検診専門医療機関数	人	1	2	3	1	0.0%	33.3%	民間の医療機関もあり、増やす必要性がない。	△

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 救急医療体制の充実	◇ 休日急病診療について、情報提供に努めるとともに、救急医療情報システムの活用について周知を図ります。	健康推進課	救急医療情報システムが十分に発揮するよう、利用方法について、引き続き広報等で町民への啓発と理解を求めています。	A
	◇ 第1次救急医療機関を担う休日急病診療所の役割を周知し、適切な受診を促進します。	健康推進課	平成30年度の利用者は610人であり、前年度と比較して40人減となっている。町民への啓発と理解をより一層深めるため、パンフレット等を作成し、健診等の機会をとらえて啓発します。	B
	◇ 愛知県に対し、第2次救急病院の整備・充実を求めています。	健康推進課	平成25年4月から日進おりど病院と旭労災病院が指定病院として稼働しており、この体制を維持していきます。	A
(2) 地域医療の充実	◇ 地域で安心して生活が送れるように福祉関係者と協力して、支援します。	東郷診療所	包括支援センターや介護支援専門員との連携のもと、住み慣れた地域で暮らせるよう、医療を提供します。	A
	◇ 多様化する医療需要に対応するため、地域医療機関(周辺市医療機関を含む。)と連携強化を図ります。	東郷診療所	藤田医科大学を始めとする医療機関と連携し、専門医へつなげます。	A
	◇ 高齢社会の到来による在宅医療及び介護の需要に対応するため、地域医療機関との連携により訪問看護の充実を図ります。	東郷診療所	主治医からの指示書に基づき、訪問看護を提供していきます。東郷診療所は入院病床を持たないため、夜間や24時間体制は難しいですが、医療依存度の軽い方への訪問を充実させていきます。	A
(3) かかりつけ医制度の推進	◇ かかりつけ医を持つことで、気軽に健康相談や生活指導が受けられ、病気の重症化や慢性化を防ぐことができることを啓発するとともに、かかりつけ医の紹介を行います。	東郷診療所	特定健診の結果説明の際に、引き続き医療が必要な方には、かかりつけ医への受診を勧めます。	A

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.39点	重要度	1.25点	重点改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 障がい者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	12.0	17.0	22.0	12.3	2.5%	55.9%		△
ii 指定相談支援事業相談件数	件	0	245	298	515	－	172.8%		◎

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 障がい者福祉サービスの充実	◇ 自立支援協議会の充実を図り、個別の支援における工夫や明確になった解決すべき地域の課題を共有し、障がい者福祉サービスの向上につなげる。	福祉課	基幹相談支援センターを設置し、自立支援協議会の充実や関係機関の連携強化を図ります。	B
	◇ 障がい者やその家族の経済的負担の軽減を図るため、各種助成制度を実施します。	福祉課	障がいのある人が制度を活用しやすいように既存の制度を幅広く周知します。	B
(2) こころのバリアフリー化	◇ 障がい者理解のための講演会や交流会の実施など、障がい者に対する誤解や偏見を是正するための啓発活動を行います。	福祉課	障がいのある人もない人参加できる交流会や障がい者を対象とした絵画展などの開催を通じて、社会参加や自己実現を促進するとともに障がいに対する理解を深めます。	B
(3) 障がい者の就労機会の拡大	◇ 職業能力の向上のため、障がいの種別や程度に応じた職業指導、職業訓練などを実施します。	福祉課	就労移行支援等のサービスやハローワークの職業訓練を活用できるよう、相談支援事業所と連携しながら対象者の相談にのっていきます。	B
	◇ ハローワークや商工会との連携により、各企業に対し、障がい者の雇用に関する各種助成制度の周知・啓発活動を行います。	福祉課	自立支援協議会就労部会を通じ、障がい者の就労についての関係者と連携し、具体的な支援方法を検討し、取り組みを進めていきます。	C
(4) 利用しやすい公共施設	◇ ノンステップ仕様、フルフラットフロア仕様、乗降時スロープ板装着仕様のバスを導入します。	未来プロジェクト課	現在もノンステップ仕様となっていますが、バスを買い替える場合も、同様にノンステップ仕様等を推進していきます。	A
	◇ 情報表示等ユニバーサルデザイン仕様の公共交通システムを導入します。	未来プロジェクト課	バスロケーションシステム等の導入について検討していきます。	B
	◇ 公共施設の新設・改修時には、誰もが使いやすい施設になるようにします。	総務財政課	公共施設を改修する際には、バリアフリー化や情報表示等を推進し、誰もが使いやすい施設になるようにしていきます。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	0.00点	重要度	0.96点	継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

4 社会保障制度を適切に運用する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 特定健診受診率	%	25.5	65.0	65.0	45.4	78.0%	69.8%	受診勧奨、PR不足。	△
ii 特定保健指導の実施率	%	42	45	45	38.1	-9.3%	84.7%	PR不足、マンネリ化。	△

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 国民健康保険制度の適正な運用	◇ 制度の改正に対応するため、条例改正やシステム修正を的確に行います。	保険医療課	国・県の動向を注視し、適宜条例改正やシステム改修を行います。	A
	◇ 制度を十分に理解してもらうため、広報活動や窓口相談等を充実します。	保険医療課	定期的な広報紙への掲載、窓口での相談業務を行います。	A
	◇ 特定健康診査等を進んで受診できるように環境を整えます。	保険医療課	対象者への3回の個別通知、ポスター掲示、のぼり旗設置、健康教室開催時の健診勧奨等で周知しています。これらは継続とし、さらなる受診率向上のための方法を検討します。	A
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納課と連携し、収納業務の強化を図ります。	A
(2) 介護保険制度の適正な運用	◇ 介護保険制度は高齢者の安心を支える仕組みであることを理解してもらうために、パンフレットや広報などを活用し制度の周知に努めます。	高齢者支援課	認定受付時等に分かりやすい説明を心掛けます。また、保険料等の通知の際に、分かりやすい案内を同封して周知を図ります。	B
	◇ 高齢者保健福祉計画に基づき、介護保険施策の推進を図るとともに歳入の確保に努め、健全な介護保険財政の運営に努めます。	高齢者支援課	負担金及び補助金の適正な申請、取得により事業を実施します。また、催告や臨戸訪問等により介護保険料の徴収強化を図ります。	B
(3) 後期高齢者医療制度の適正な運用	◇ 制度の周知を図ります。	保険医療課	定期的な広報紙への掲載や案内文の見直しを行います。	A
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納課と連携し、収納業務の強化を図ります。	B
(4) 福祉医療制度の適正な運用	◇ 子ども医療を始めとする福祉医療助成制度の拡充を図ります。	保険医療課	他市町村の動向を注視し、必要に応じ拡充を検討します。	A
	◇ 福祉医療費の助成額の増加が予測されるため、助成制度の適切な運用を図ります。	保険医療課	適正受診の啓発やレセプト確認の強化を図ります。	B
(5) 国民年金業務の適正な運営	◇ 国民年金業務の届出や申請書類等を適切に処理し、事務の適正な運営に努めます。	保険医療課	申請書類を迅速に年金事務所へ進達するよう努めます。	A
	◇ 日本年金機構との協力連携を強化し、窓口や電話による納付・諸手続きに関する相談や広報の活用による国民年金制度の周知に努めます。	保険医療課	個人情報の取扱いに注意しながら日本年金機構との連携を強化します。	A

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.02点	重要度	1.05点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 高齢者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	14.5	20.0	25.0	18.2	25.5%	72.8%		△
ii ボランティアセンター登録者数(個人・団体)	人	823	935	1,045	716	-13.0%	68.5%	新規のボランティア登録団体の加入人数が減少しているため。	×
iii 介護予防サポーターの各地区での活動箇所数	箇所	0	3	6	5	-	83.3%		○

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 介護サービスの充実	◇ 生きがいのある生活ができるように健康づくりや介護予防の知識の普及・啓発に努めるとともに、介護予防サポーターなどと連携し予防事業を実施します。	高齢者支援課	介護保険施設や民間企業等と協働した地域介護予防教室を開催し、健康づくりや介護予防に努めます。また既存の老人クラブ活動やサロン活動が充実できるよう出張講座を行います。介護予防サポーターと連携し事業を実施します。	A
	◇ 認知症サポーターや各地域で活動する団体と連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように見守ります。	高齢者支援課	引き続き認知症サポーター養成講座やひとり歩き高齢者捜索模擬訓練などを実施し、地域での見守り・支援体制を強化していきます。また、認知症カフェの開催や認知症地域支援推進員の配置などにより、認知症の本人や家族の支援を強化していきます。	A
(2) 高齢者の社会参加	◇ 高齢者が気楽に集える場を増やし、生きがい活動に対して支援します。	高齢者支援課	思い出の語り場づくり事業を継続し、住民主体の活動に支援します。また社会参加ポイント制度をきっかけとし、社会参加を促します。	A
	◇ 高齢者を主体とした異世代交流の場を設けます。	高齢者支援課	引き続き、地区老人クラブと保育園や児童館との交流を実施していきます。更なる交流が図れるよう、通いの場の充実を目指します。	B
	◇ 高齢者の生きがいづくりとして、シンポジウムを開催します。	高齢者支援課	老人クラブ連合会が開催する高齢者大学講座が高齢者の生きがいづくりにつながるように支援していきます。	B
(3) 高齢者の福祉サービスの充実	◇ 地域で支え合うために、見守りや声かけなどのボランティアが活動できる環境を整えます。	高齢者支援課	ボランティアポイント制度を今後も継続し、ボランティア活動ができる環境を整えます。	B
	◇ 家族介護者のニーズを把握し、福祉施設や福祉サービスの内容を充実します。	高齢者支援課	3年に1度、介護者等にアンケート調査を実施した上で、適切な福祉施設やサービスの充実に向けて、高齢者福祉計画の内容を検討していきます。	A
(4) 地域福祉活動の推進	◇ 町民、福祉団体、関係機関と連携・協力しながら、地域で支え合いのできるまちづくりを推進する体制を確立します。	福祉課	地域福祉計画において、町民、福祉団体、関係機関、行政の役割を明確にし、地域共生社会の実現に向けて、包括的・横断的な支援体制の構築を目指します。	B
	◇ 民生委員児童委員による高齢者等の孤立・孤独への見守り支援など地域に根ざした活動を進めます。	福祉課	民生委員児童委員によるひとり暮らし高齢者等の見守り活動を継続するとともに、地域の困りごとの早期発見や必要な支援へのつなぎ役を担えるように、民生委員活動を支援していきます。	B
	◇ 地域ニーズの把握を進め、ボランティア団体の育成・連携を進めていきます。	福祉課	社協職員がボランティア団体や地域での集まりなどを訪問して地域ニーズの把握に努めています。また、ボランティア団体への助成や各種相談と講座開催などによりボランティア団体の育成・連携に努めています。	B
	◇ 災害時などの緊急時には、迅速かつ的確な支援が行える体制を整備します。	福祉課	避難行動要支援者制度の運用や災害ボランティアセンターの開設・運営訓練の実施等により、災害時における支援体制の整備を進めます。	B
(5) 地域福祉体制の充実	◇ 地域福祉推進機関である東郷町社会福祉協議会の運営基盤の強化と活動機能の充実を図ります。	福祉課	町から社協へ補助金を交付することにより、運営基盤の強化をサポートしていきます。	A
	◇ 東郷町社会福祉協議会や関係団体等と連携を図り、判断能力の不十分な方の権利擁護に取り組みます。	福祉課	認知症高齢者2名、知的障がい2名の方に対して、町社協で日常生活自立支援事業を実施しています。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.04点	重要度	1.05点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

6 安心して子育てができる環境をつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	%	29.4	35.0	40.0	50.0	70.1%	125.0%		◎
ii ファミリー・サポート登録者数	人	306	500	600	297	-2.9%	49.5%	国の方針により、毎年会員登録の継続意向確認が必要になったため、実数は減少している。しかし、より実際の活動人数に近い数字となっているため、必ずしも大きく減少しているとは考えていない。	×
iii 家庭的保育事業（保育ママの人数）	人	0	3	6	0.0	-	0.0%	小規模保育事業の充実により保育の枠が確保できているため。	×

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 子育て支援の充実	◇ 地域の子育て支援の拠点である児童館、子育て支援センターの充実を図ります。	こども保育課	全小学校区に児童館を設置し、地域の子育て拠点として機能しています。今後は、運営について民間の創意工夫をより取り入れ、より一層の充実を図ります。	A
		子育て応援課	町内3カ所に子育て支援センターを開設しています。今後は、事業内容の充実を進めていきます。	A
	◇ 子どもの発達や子育ての不安を解消するため、相談体制の充実を図ります。	子育て応援課	相談員や保健師を配置し、子育ての不安解消に努めています。今後は保育士などの専門職を配置し体制の強化を図ります。	A
	◇ 子育て中の家庭をサポートするため、ファミリー・サポート事業の充実・普及に努めます。	子育て応援課	会員確保に向け、広報やHPへの掲載、保健事業や町イベント時のチラシ配布等周知に努めています。今後も周知方法を研究するとともに、会員同士の交流機会の充実を図ります。	B
(2) 子どもが安全・健全に育つための支援	◇ 子ども同士のコミュニケーションの場、また、次代を担うリーダー育成の場として、子ども会活動を支援し子どもたちの健全な育成を目指します。	子育て応援課	単位子ども会及び町子連に対し、補助金を交付し活動を支援しています。また、毎年1回1学区開催の夢活動においてイベント実施や活動の支援をしています。今後も、時流に合わせた有益な活動ができるよう支援していきます。	B
	◇ 児童虐待の早期発見及び防止と児童問題に対応するため、児童相談所等関係機関との連携体制を強化します。	子育て応援課	要保護児童対策地域協議会を設置し、児童相談所などの関係機関と連携し対応しています。引き続き関係機関との連携強化に努めます。	A
(3) 母子・父子福祉の充実	◇ 母子・父子家庭に対しての資金貸付制度などを活用した経済的支援の充実を関係機関へ働きかけるとともに、愛知県等関係機関と連携して母子家庭の就労等の相談に応じます。	子育て応援課	尾張福祉相談センターの母子・父子自立支援員による出張相談を月1回実施しています。また、キャリアカウンセラーによる就業相談も随時行っています。今後も引き続き関係機関と連携し相談体制の強化に努めます。	B
(4) 保育サービスの向上	◇ 働きながら子育てをしている親を支援するため、病気の回復期にある子どもを安心して保育できる場づくりを進め	こども保育課	日進市内の医療施設であるおりど病院内で、病気からの回復期の子どもだけでなく、かぜなどの比較的軽い病状の子どもを保育できる病児・病後児保育を実施しています。今後も、引き続き保育を継続します。	A
	◇ 保育園入園希望者の増加に対応するため、家庭的保育事業等の導入を検討します。	こども保育課	子ども・子育て新制度の地域型保育事業である小規模保育事業所が公立が1カ所、民間が2カ所整備されています。年度途中には、乳児の待機児童が生じることから、民間の地域型保育事業を誘致します。	A
	◇ 子どもの社会性を高めるため、地域とのふれあい交流や保育サービスの充実に努めるとともに、保育士の研修などを実施し、保育サービスの向上を図ります。	こども保育課	運動会などの行事の際には、地域とのふれあい交流を進めています。社会の中での子どもの位置づけの変化により、保育の指針の改訂などを踏まえた研修を充実し、地域での保育サービスの充実に努めます。	B
(5) 保育園・幼稚園の施設の整備	◇ 園児の健全な育成を図るため、保育園の施設を整備し、私立幼稚園については、施設整備に対する助成の充実を図ります。	こども保育課	中部保育園の園舎の一部の建て替えを実施するとともに、保育園の民営化を一部実施し、保育園の施設整備を順次進めています。町内の私立幼稚園については、経常費補助金を継続して給付しています。	B
	◇ 就学前の教育・保育を一体として捉え、幼稚園と保育園を一元化した施設について検討します。	こども保育課	認定子ども園への移行は、公立・民間ともに、待機児童の解消を優先して保育の枠を確保したうえで、住民ニーズを踏まえた検討を継続します。	C

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.23点	重要度	1.17点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 小中学校の教育内容や教育環境に満足している町民の割合	%	19.3	25.0	30.0	22.6	17.1%	75.3%		△
ii 学校ボランティア登録者数	人	151	240	330	237	57.0%	71.8%	保護者及び地区の協力のもと、多くの人にボランティアとして登録いただいておりますが、これ以上の増が見込めないため。	△
iii 中学校不登校生徒割合	%	2.4	1.9	1.7	2.8	16.7%	164.7%	各中学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員を配置することで、生徒の心に寄り添う教育環境の確保に努め、また、適応指導教室（ハートフル東郷）で不登校となった生徒の学校復帰を支援していますが、目標年度までに学校復帰するか不透明なため。	×

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 家庭や地域と連携した学校教育の充実	◇ 児童生徒が、学校生活を明るく元気に送れるように、保護者及び地区の協力のもと、地域の人材等を活用し、積極的に学校の教育活動、環境整備などを行う学校ボランティア登録制度を進めます。	学校教育課	保護者及び地区の協力のもと、多くの人にボランティアとして登録いただいております。ただし、PTA等は、自分の子供が卒業すると活動されなくなってしまうケースがあるので、今後は長期的にボランティアとして活動してもらえるよう施策を継続していきたいと考えます。	A
	◇ 各学校は地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動を推進します。	学校教育課	地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動に取り組んでいます。今後も継続していきます。	A
	◇ 「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で、重要な役割を担う家庭教育力を向上するため、家庭教育に関する講座の開催など普及・啓発活動を充実します。	学校教育課	「家庭科」を中心に、家庭教育力を高めたり、外部講師を招いての講座等を行ったりしています。今後も「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する取組を継続していきます。	B
(2) こころとからだの健康教育	◇ 人間性豊かな児童生徒を育成するため、教育活動全般を通して道德教育を行い、こころの教育の充実を図ります。	学校教育課	道德の授業だけでなく、学校生活全般に渡り、こころの教育の充実を図っています。今後も継続して取り組んでいきます。	B
	◇ 児童生徒の健康増進、体位、体力の向上を図るとともに、生涯において運動に親しむ資質を育成するため、体育指導の充実と、学校と家庭・地域との連携による食育指導の充実を図ります。	学校教育課	各学校において、健康増進、体力向上等を図るための工夫を行っています。また、食に関する意識を高め、家庭・地域と連携するなど食育指導の充実を図っています。	B
	◇ 学校における児童生徒及び保護者の心配事・教育相談を充実するとともに、不登校児童生徒に対しては、適応指導教室を通じ、自立を促し、集団への適応力を育成します。	学校教育課	心の教室相談員を中学校に5名配置、また県よりスクールカウンセラーが小学校に2名、中学校に3名配置されていて、保護者児童生徒の相談を担当しています。また、適応指導教室では自立を促し、集団への適応力を育成する取組を行っています。	B
(3) 学校教育環境の整備・充実	◇ 施設の長寿命化及びバリアフリー化を目的とし、老朽化した学校施設の整備を計画的に進めます。	学校教育課	平成29年度に策定した東郷町学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修を進めますが、施設数が多く、整備に多額な費用がかかることから、着実な財源の確保が重要になります。今後も継続して実施します。	B
	◇ 児童生徒が本に親しむことができるように、学校図書館の電算化及び図書館補助員の配置を行い、学校図書館を充実します。	学校教育課	図書館の電算化には、システム導入の他、既存図書の電算化作業も伴うため、財源の確保を慎重に行う必要があります。今後も綿密な計画を立て導入を検討します。また、平成27年度より全校に1人ずつ学校図書館司書教諭補助員を配置しており、今後も継続します。	B
	◇ 児童生徒の教育活動に教員が集中できるよう、教員補助員の配置を進めます。	学校教育課	給食配膳員、用務員、学級運営改善対応員、学校生活介助員、非常勤講師及び養護教諭補助員を配置して、教員が教育活動に集中できるよう努めていますので、今後も継続します。	A
(4) 放課後児童対策の実施	◇ 子どもたちに安全・安心な居場所を提供するために学校施設を利用し、学習支援を始め、学年の異なる子ども同士の交流、地域の大人との交流、様々な体験活動などを通じて児童の健全育成を図ります。	こども保育課	町内の全6小学校区で放課後子ども教室を実施しています。参加児童が増加し、現在の実施教室では手狭になってきています。子どもが安全に放課後を過ごすことができるよう、学校内での実施場所の拡大を検討するとともに、放課後児童クラブとの一体型運営についても検討します。	A
	◇ 昼間、仕事などの理由により保護者が家庭にいない児童に対し、学校授業終了後、児童館で生活や遊びを指導し、児童の健全育成を図ります。	こども保育課	町内の全6小学校区で放課後児童クラブを実施し、就労家庭の支援として、児童が安全に生活し、遊びの時間を提供します。一部のクラブでは待機児童が発生していることから、受け入れ枠の拡大のため、人員と場所の確保が必要です。	B

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	0.08点	重要度	1.18点	継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 教養講座などの生涯学習の機会に満足している町民の割合	%	13.2	19.0	24.0	15.5	17.4%	64.6%		△
ii 地域での生涯学習講座の開催数	地区	0	5	10	10	－	100.0%		◎
iii 60歳以上の講師登録者数	人	50	60	70	69	38.0%	98.6%		○
iv 生涯学習講座の受講者数(1講座当たりの受講者数)	人	16	20	25	14	－12.5%	56.0%		×

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 参加しやすい講座の開催	◇ 町民ニーズを把握し、老若男女誰もが参加意欲が持てるような講座を開講します。	生涯学習課	受講希望者が定員を超える講座がある一方、受講者が集まらず開催出来ない講座もあるため、ニーズの把握に努め、講座内容や周知方法等を検討します。	B
	◇ 町民ニーズにあった講座が開催できるように、登録講師数を増やします。	生涯学習課	講師登録制の周知に努めます。定期的に登録内容の確認を行っていないため、登録期限を設けるなど検討が必要です。	B
	◇ 魅力ある生涯学習に出会うきっかけづくりとして、初心者向けの講座を積極的に開講します。	生涯学習課	今後も生涯学習のきっかけとなるような講座内容を検討していきます。	B
(2) 地域で活躍できる環境づくり	◇ 現役時代に得た経験やノウハウを講師として活用できるように、シニアを対象とした講師養成講座を開催します。	生涯学習課	対象をシニアに限定した講師養成講座の継続的な開催は困難ですが、多岐にわたる分野の講座を開催する中で、シニアのノウハウの発掘に繋げていきます。	D
(3) 多様な生涯学習講座の開催	◇ 地域のコミュニティセンターなどに outward、出張講座などを開催します。	生涯学習課	開催実績が少ないため開催に繋がるように周知に努めます。	C
	◇ 地域からの要望により、講座の講師派遣や運営をサポートします。	生涯学習課	講師派遣や運営のサポートについて、地域への周知とニーズの把握に努めます。	D
(4) こころの豊かさを育てる機会の充実	◇ 町民ニーズを把握し、優れた文化芸術に直接ふれあうことができるように、文化芸術事業の充実を図ります。	生涯学習課	今後も事業実施後にアンケートを実施する等町民ニーズの把握に努め、幅広い世代に魅力ある事業を企画し、文化芸術事業の充実を図ります。	A
	◇ 様々な知識や情報に接することができるよう、図書館の蔵書や資料の充実を図ります。	生涯学習課	引き続き、年1回の蔵書点検及び毎月の管理整理を行い適正な蔵書管理に努めます。	B

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.06点	重要度	0.64点	要検討分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 文化財の継承・保存に満足している町民の割合	%	12.4	18.0	23.0	12.6	1.6%	54.8%		△
ii 町内文化財数	件	25	26	27	27	8.0%	100.0%		◎
iii 文化財めぐり講座の参加人数	人	25	30	30	20.0	-20.0%	66.7%		×

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 郷土資料館の充実	◇ 展示物と展示方法の検証を行い、文化財に対する町民の関心を高めます。	生涯学習課	寄贈品を適宜受け入れ、展示物と展示方法の検証をしています。町民の関心を高めるようなPRを継続していきます。	B
(2) 文化財保護意識の高揚	◇ 無形文化財や民俗文化財を後世に伝えるための発表会を企画します。	生涯学習課	各伝統文化子ども教室で学んだ子どもたちが一堂に会する伝統文化発表会を開催しています。引き続き発表会を開催します。	B
(3) 文化財の保存と継承	◇ 郷土資料館で、常設展示と企画展示を開催し、身近に郷土の歴史や文化などに親しめる機会を増やします。	生涯学習課	常設展示のガイドツアーを開催し、郷土の歴史や文化に親しめる機会を幅広い世代に提供しています。一方、人材の不足により企画展示に時間が割けないのが現状です。	B
	◇ 地区と協力し、町内に眠る文化財の発見及び保存に努め、無形文化財の継承を行います。	生涯学習課	無形民俗文化財保存団体3団体へ補助金や太鼓修繕費を交付し、継承を支援しています。 新たな文化財の発見には、文化財保護委員だけでなく地区の方の協力を呼び掛けていく必要があります。	B
(4) 文化団体の活動促進	◇ 本町の地域文化の振興を図るため、文化団体の活動を支援します。	生涯学習課	文化協会、東郷音頭保存会等へ補助金を交付し、活動を支援しています。また、適宜団体の相談に応じ、助言しています。 引き続き、文化団体と未来を担う子どもたちとの橋渡し等、文化の振興を図り、団体の自主的な活動を促していきます。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.06点	重要度	0.52点	要検討分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 定期的にスポーツ・運動をしている町民の割合	%	34.1	40.0	45.0	41.9	22.9%	93.1%		○
ii 総合型地域スポーツクラブ種目数	種目	0	1	3	1	-	33.3%		○
iii 町民レガッタに参加する町内クルー数	クルー	65	75	85	80.0	23.1%	94.1%		○

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 生涯スポーツの推進	◇ レガッタのさらなる普及のため、ボート体験やボート教室などの充実を図ります。	生涯学習課	ボート教室参加者、町内企業、社会教育関係団体等へのPRや各マスメディアへ大会の情報提供の充実にも努め、町民レガッタの町内参加者数の増加を図り、ボートの普及・促進につなげます。	B
	◇ 子どもから高齢者まで誰もが参加できるイベントを開催します。	生涯学習課	TOGOスポーツクラブを始めとした運動・スポーツ関係団体との連携を行っていくのに加え、指定管理者や企業等の民間活力の積極的活用を進め、より魅力のある事業の開催を行っていきます。	B
	◇ 生涯を通して気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります。	生涯学習課	町教育委員会・町関係団体が主催する各種大会・行事の知名度や参加率の向上のため、関係団体等との連携を図り、周知・啓発を充実していきます。	B
(2) 指導者の育成	◇ スポーツクラブやその指導者育成のため、研修会や講演会を開催します。	生涯学習課	スポーツ推進委員や体力づくり推進委員などの運動・スポーツ指導者に対し、研修会や他市町村委員との交流などを通して運動・スポーツ指導者の質的向上を図ります。	A
(3) 参加しやすい環境づくり	◇ 家族体力づくりの日やレクスポの日を開催します。	生涯学習課	家族体力づくりの日やレクスポの日において、高齢者や障がい者の参加を広く呼びかけ、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの導入・普及を推進し、健康づくりへの支援や、スポーツを通じた地域の交流、仲間づくりを促します。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.13点	重要度	0.63点	要検討分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 地域の行事やお祭りに参加している町民の割合	%	29.8	35.0	40.0	29.3	-1.7%	73.3%		×
ii 地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	%	23.1	29.0	34.0	30.3	31.2%	89.1%		○
iii 文化産業まつり来場者数	人	18,000	19,000	20,000	18,000	0.0%	90.0%	土日に開催されるイベントであり、他のイベントに勝る催しがないため。	△

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) コミュニティ活動の推進と活性化	◇ 各地区にコミュニティ広報誌を作成してもらうように働きかけます。	地域協働課	今後もコミュニティ活性化事業補助金にてコミュニティ広報誌作成を支援します。	A
	◇ コミュニティ活動に対して支援します。	地域協働課	今後もコミュニティ活動に対し、補助を支払い、コミュニティ活動の活性化を支援します。	A
	◇ 各地区お互いに刺激し合えるよう、活動事例集を作成します。	地域協働課	自治会ガイドブックの作成を検討します。	D
(2) コミュニティ施設の充実	◇ コミュニティ施設の整備に対して支援します。	地域協働課	今後もコミュニティセンター等の建設や改修等に対し、補助金を交付します。	A
(3) 町民相互の絆を深める	◇ 町民が参加したくなるような魅力あるお祭りを実施します。	産業振興課	行政主体で文化産業まつりを実施しているため、商工部、農産部、文化部、本部それぞれが主体となって魅力ある祭りを実施していけるよう、今後は実行委員会の実施運営にしていく必要があります。	C
		生涯学習課	今後も各種団体と協力して町民納涼まつりを実施していきます。	B
	◇ 町民と行政の協働による各種イベントを充実するとともに、町民主体のイベントに対して支援します。	産業振興課	文化産業まつりは町民と各種団体が相互のふれあいと融和づくりを推進するイベントであり、今後も実施します。	A
		生涯学習課	音楽祭inTOGO、伝統文化発表会等を実行委員会形式で町民が主体となり開催しました。引き続き、町民主体のイベントを支援していきます。	B
	◇ 区・自治会が子ども会、老人クラブなど各種団体を巻き込んで、地区町民の交流を促進します。	地域協働課	今後もコミュニティ活動に対し、補助を支払い、コミュニティ活動の活性化を支援します。	A

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.04点	重要度	0.61点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

6 多文化の人々が共生できる社会をつくる

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 国際理解・国際交流の推進に満足している町民の割合	%	4.9	10.0	15.0	6.1	24.5%	40.7%		△
ii 日本語教室の参加者数	人	35	46	60	128	265.7%	213.3%		◎
iii 外国人支援ボランティア活動者数	人	4	6	9	0.0	-100.0%	0.0%	外国人で支援が必要な方については、国際交流センターの紹介で事足りているため。	×

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 多文化共生の推進	◇ 多文化の人々が共生できるように、異文化理解を推進します。	地域協働課	東郷町国際交流協会と協働して、外国人と日本人が集うイベントを今後も開催し、異文化理解の推進を図ります。	B
	◇ 多文化共生ビジョンを作成し、多文化共生の意義や必要性の周知を図ります。	地域協働課	イベント等を通じ、多文化共生の意義や必要性の周知を図ります。	B
(2) 日本語学習支援等の環境づくり	◇ 日本語学習や日本の生活習慣・文化に対する理解を進めます。	地域協働課	東郷町国際交流協会への委託事業「日本語教室」を今後も開講します。	A
	◇ 多言語により情報を提供します。	地域協働課	役場通訳を活用して広報・HPを始め、町の広報物を多言語により提供します。	A
(3) 国際交流の推進	◇ 国際化の推進役となる人材を育成します。	地域協働課	東郷町国際交流協会の中から、今後の国際化の推進を担う人材を確保します。	B
	◇ 国際交流団体を育成し、国際交流活動を支援します。	地域協働課	東郷町国際交流協会の活動を今後も支援します。	A
(4) 国際化教育の充実	◇ 国際化の進展に伴い、国際理解教育を推進します。	地域協働課	東郷町国際交流協会と協働して、国際理解推進事業を今後も開催します。	B
	◇ 新たに転入した外国籍の児童生徒及びその保護者への言葉の支援のため、外国籍通訳者(主にポルトガル語)を学校に派遣します。	学校教育課	町からは外国籍通訳者は派遣していませんが、県からは語学相談員(ポルトガル語・フィリピン語)を派遣してもらい、日本語の指導、生活適応相談、文書の翻訳等行っています。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.11点	重要度	0.44点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

7 青少年の健全な育成を進める

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 青少年の健全育成に満足している町民の割合	%	10.3	16.0	21.0	12.1	17.5%	57.6%		△
ii 地区と行政が合同で行う青少年健全育成活動地区数	地区	0	3	6	0	-	0.0%		△

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 地域と行政が一体となった青少年健全育成活動	◇ あいさつ運動や啓発活動など地域と町が合同で事業を行い、青少年が健やかに育つ環境を整備します。	生涯学習課	引き続き、11月の「子ども・若者育成支援町民運動強調月間」で各地区と協力しながら啓発活動や青少年健全育成会表彰式を実施していきます。	B
	◇ 青少年が健全に育ち社会に貢献できるように、各地区の青少年健全育成団体の活動を推進します。	生涯学習課	今後も各地区に補助金を交付し、青少年健全育成活動を支援していきます。	B
(2) 青少年に対する町民意識の向上	◇ 11月の「青少年健全育成強調月間」に合わせて全地区でイベントや活動を行い、町民の意識を高めます。	生涯学習課	引き続き、強調月間である11月に各地区で啓発活動を行うほか、青少年健全育成会表彰式を行い、優良青少年や青少年指導者等を顕彰していきます。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	0.02点	重要度	0.86点	要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

1 まちづくりに参加できる仕組みをつくり、協働のまちづくりを進める

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i ボランティアやNPOの活動が活発に行われていると考える町民の割合	%	9.8	15.0	20.0	12.1	23.5%	60.5%		△
ii 区・自治会加入率	%	77	79	81	77	0.0%	95.1%		△
iii NPO公募提案型事業応募団体数	団体	2	4	4	2	0.0%	50.0%		△

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 行政への町民参画機会の拡充	◇ 町民自らが、まちづくりの主役であることを認識し、職員については意識改革を図るなど、町民と行政の双方の協働意識の醸成を図ります。	企画情報課	自治基本条例の主旨について、町民及び職員に周知する取り組みを引き続き実施します。	B
		地域協働課	町民に対しては、まちの出前講座や協働によるまちづくり提案型事業等を活用することにより、町民参画意識の醸成を図ります。職員に対しては、「NPOと行政の協働」に関する職員研修を実施し、職員の意識改革を図ります。	B
	◇ 町民と行政との対等性や透明性を確保しながら、協働関係が構築できるよう、広報紙、インターネット等様々な方法を活用し、行政の情報を町民目線に立ってわかりやすく、迅速に公開・提供し、情報の共有化を推進します。	人事秘書課	広報とうごうをより見やすい紙面とするため、令和元年10月号から全面リニューアルしました。また、より見やすい紙面とするため、引き続き改善を図ります。 ホームページは、各課が積極的に情報発信できるような仕組みを検討します。	B
		未来プロジェクト課	プロモーションのターゲットを明確にし、本町の魅力を多様なメディアを活用して町内外に発信していきます。	B
	◇ 町民と行政が情報交換、意見交換を行い、相互理解に努めます。	企画情報課	パブリックコメント等、町民の意見を取り入れる機会の確保に努めます。また、引き続きタウンミーティング等、町民・行政の意見交換の場を設けていきます。	B
	◇ 委員会や懇談会への町民参加を呼びかけ、町民と行政が語り合う機会を一層増やします。	企画情報課	自治基本条例に基づき、各部署で町民参画を求める機会があれば積極的に取り入れるよう働きかけます。	C
	◇ 町民、事業者、行政など、主体ごとに役割と責務を明らかにするなど、まちづくりを進める上での考え方や実現していくための”しくみ”を定めた自治体の基本ルールを町民参加でつくります。	企画情報課	平成25年6月24日に東郷町自治基本条例を制定し、平成26年1月1日から施行しました。 また、施行後5年となる平成30年8月に座談会及び検証会議を行いました。	A
	◇ 町民と行政が対等な立場で協働に当たるよう、町民と行政が支え合う協働のルールづくりを行います。	地域協働課	協働によるまちづくり提案型事業を活用し、町民が行政と協働でまちづくりに参画できるよう今後も事業を実施します。	B
(2) 町民活動の支援	◇ 町民が自ら学び、活動する拠点として町民活動センターなどの活用を推進します。	地域協働課	今後も町内の町民活動団体等に対して町民活動センターの活用を促します。	A
	◇ 町民が自主的に意見交換したり、交流する場を提供します。	地域協働課	町民が会議・打合せする場として、町民活動センターの活用を促します。	A
	◇ 社会参加活動が活性化するように、活動を支援します。	地域協働課	まちの出前講座、協働によるまちづくり提案型事業等で行政との協働を促進し、社会参加活動を支援します。	B
	◇ 町民活動団体、ボランティア団体等のネットワークを形成し、交流の場づくりに取り組みます。	地域協働課	町民活動センターを活用し、町民活動団体に横の繋がりが生まれるよう、交流の場づくりに取り組みます。	B
(3) 区・自治会活動の推進と活性化	◇ 区・自治会への加入を促進するため、区・自治会と町との意見交換に努めます。	地域協働課	今後も各地区に駐在員を配置し、町と自治会との連携を密にします。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.01点	重要度	0.53点	改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 男女差別のない社会がつくられていると考える町民の割合	%	28.5	30.0	35.0	24.0	-15.8%	68.6%		×
ii 審議会等への女性登用率	%	24.7	30.0	35.0	30.0	21.5%	85.7%		○
iii 男女共同参画に関する講座・セミナーなどへの参加者数	人	88	120	176	431	389.8%	244.9%		◎

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 人権の尊重と男女共同参画を進める意識づくり	◇ あらゆる場において、男女共同参画を推進し、男女平等意識を醸成するとともに、男女共同参画を推進する仕組みや体制を確立します。	地域協働課	男女共同参画社会の実現に向けて、今後も推進事業を開催し、男女共同参画について考える場を提供します。	A
	◇ 男女平等意識を町民に浸透させるための教育を推進します。	地域協働課	男女共同参画社会の実現に向けて、今後も推進事業を開催し、男女共同参画について考える場を提供します。	A
	◇ 暴力の根絶を目指して、男女が共に互いに立場を理解し、尊重し合えるよう意識の向上を図ります。	地域協働課	平成30年3月に第2次東郷町男女共同参画プランを策定し、その中で配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶を掲げており、DVIに対する防止や被害者支援策の取り組みを進めます。	B
		子育て応援課	尾張福祉相談センターの女性相談員が出張し女性悩み事相談に応じています。緊急の際は、子育て応援課職員にて対応しています。引き続き関係機関と連携し相談体制の強化に努めます。	B
(2) 男女共同参画を進める環境づくり	◇ 男女が共同で参画する地域・家庭づくりを推進します。	地域協働課	イーストピア(男女共同参画情報誌)や、男女共同参画情報コーナー等を通じ、ワーク・ライフ・バランスの必要性を引き続き周知します。	A
	◇ 男女平等の就業環境づくりを推進します。	地域協働課	商工会かわら版等を通じて、男女の職業生活と家庭生活の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)を周知させ、企業及び商工会と連携して男女平等の就業環境の整備を図ります。	A
(3) 計画決定と推進への男女共同参画	◇ 町民と行政との協働の場においても、男女共同参画を進めるため、町の基本的な政策や計画を策定する際に設置する審議会などに積極的に女性を登用します。	地域協働課	町の審議会等における女性委員の登用率が上昇するよう今後も各課に働きかけを行います。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	-0.02点	重要度	0.60点	改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

3 町民・行政相互の情報共有を推進する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 広報とうごうを毎号読んでいる町民の割合	%	61.5	67.0	72.0	62.6	1.8%	86.9%		△
ii 町政に住民の意見が反映されていると考える町民の割合	%	5.5	11.0	16.0	6.9	25.5%	43.1%		△
iii 町政モニターの人数	人	未整備	5	10	22	-	220.0%		◎

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 広報紙、町公式ホームページの充実	◇ 広報紙や町公式ホームページの情報のバランスを考えるとともに、未掲載情報を定期的に洗い出し、町民の視点から作成します。	人事秘書課	引き続き、各課所管事業について、町ホームページの通常コンテンツに加え、とうごうカレンダーなどにも掲載するよう働きかけます。	B
	◇ 町公式ホームページの多言語化、動画配信、携帯末端用サービス、子ども向けページ、緊急メール、個人向けマイポータル等のサービスの拡大を検討します。	人事秘書課	スマートフォン向け無料アプリ「マチイロ」で広報とうごうを閲覧できます。引き続き、サービス拡大について先進自治体の取り組みを参考に検討します。	B
		未来プロジェクト課	効果的なシティプロモーション動画を、町ホームページからYouTubeで配信していきます。	B
(2) 広聴機会の充実	◇ 町政モニター制度の導入などにより、町民の率直な意見・要望などを的確に把握し、町政に反映します。	人事秘書課	町政モニターを任命し、町民の意見や評価を把握し、施策の改善等町政に活用しています。 引き続き、町民がより関心を持つテーマを選定し、実施していきます。	B
	◇ タウンミーティングの開催案内等の周知方法や内容・開催回数・時間等を見直すとともに新たな広聴機会を検討します。	企画情報課	タウンミーティングについては、各開催担当部署がその都度検討を行っています。	B
	◇ 情報公開制度に基づく情報公開のほか、行政運営情報の自主的な公表に努めます。	総務財政課	選挙公報、各種予算書、公共工事発注見通しなどを本町HPで公表しており、今後も継続します。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	-0.05点	重要度	0.75点	改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

4 効率的な行政運営を進める

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 総合的にみた役場窓口の対応に満足している町民の割合	%	45.7	51.0	56.0	39.7	-13.1%	70.9%		×
ii 事務改善実績報告件数	件	15	25	30	39	160.0%	130.0%		◎
iii 住民1,000人当たり職員数	人	6.8	6.5	6.3	6.3	-7.4%	100.0%		◎

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 行政サービスの向上	◇ 町民にとって利用しやすい行政を目指し、総合窓口の設置を検討します。	企画情報課	役場正面玄関に受付を設置し案内係を1名配置しています。今後も継続していきます。	B
	◇ 町民の意見や自治体EAの考え方を取り入れ、ICTを活用した窓口業務の見直しを進めます。	企画情報課	RPAを活用した業務効率化を目指すため、実証実験を行いました。今後はAI-OCRや電子入力など、窓口業務の電子化に向けた研究を進めていきます。	B
	◇ 多様化するニーズに対応するため、窓口開庁時間の延長を検討します。	企画情報課	第2・第4土曜日の午前中に、住民課窓口を一部開設し、住民の利便向上を図っています。今後も継続して実施します。	B
	◇ 「民間でできることは民間へ」の視点に立ち、指定管理者制度やPFI、市場化テストの導入などを積極的に進めます。	企画情報課	一部の公営施設について、指定管理者制度を採り入れています。今後も適合する施設等があれば同制度を採用します。	A
(2) 職員の育成・管理	◇ 人材育成に重点を置いた新たな研修基本方針を策定し、研修を体系化し計画的に実施します。	人事秘書課	今後も、東郷町職員研修基本方針及び基本計画に沿って実施していきます。	B
	◇ 組織の若返りに伴う経験不足を補うとともに、職員一人ひとりの業務に対する意識や能力を向上させるための人材育成制度を確立します。	人事秘書課	今後も、人材育成基本方針に沿って実施していきます。	B
(3) 行政組織の適正化	◇ 的確な事務量把握に努め、適正な人員配置を行います。	人事秘書課	今後も、定期的に人事ヒアリングを行い、各課の状況把握に努めます。	B
	◇ 事務の効率化を図り、地方分権や高度化・多様化する行政需要に的確に対応できる柔軟で機動力にある組織・機構の編成に努めます。	企画情報課	状況に応じて組織機構の見直しを行っており、今後も世間の動向に注視しながら適宜見直しを行います。	A
(4) 行政評価の充実	◇ 総合計画の施策レベルでの評価を検討するとともに事務事業評価以外の外部評価を導入し、成果重視の行政を進めます。	企画情報課	行政評価として、事務レベルの評価を実施しています。今後は、より質の高い評価ができるよう、研究を進めます。	A
	◇ 行政評価の結果を予算に的確に反映します。	総務財政課	予算査定時に前々年度決算の行政評価で見直すとした内容の反映について確認し一定の効果は得ていますが、抜本的な見直しには至っていないことが今後の課題です。	B

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

総合的にみた役場窓口の対応

項目	点数	項目	点数
満足度	0.32点	重要度	0.94点

効率的な行政運営

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.08点	重要度	0.97点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

総合分析
重点改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

5 広域連携の強化を進める

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で、新たに連携が行われた件数	件	4	5	5	9	125.0%	180.0%		◎
ii コミュニティバスを乗り入れている市の数	市	2	4	4	2	0.0%	50.0%		△

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 一部事務組合の効率的な運営	◇ 町民サービスの向上と町民の利便性を確保するため、関係市との連携を密にして、一部事務組合の効果的、効率的な管理運営に努めます。	安全安心課	平成30年度に尾三消防組合に長久手市と豊明市が加わったため、広域化のスケールメリットを活かした、効率的な管理運営が実施できるように努めます。	B
		環境課	①尾三衛生組合:各市町人口の増加により、ごみ焼却量は増加傾向ですが、今後もごみ処理施設は必要な施設でありますので、日進市とみよし市と協議し継続していくとともに、ごみの減量、資源化に努めます。 ②日東衛生組合:平成30年度末をもって日東衛生組合は解散しましたが、し尿等の処理はなくなることはありませんので、今後も日進市と協議を継続していきます。	A
		下水道課	愛知中部水道企業団:一部事務組合、関係市町が参集される会議等を活用し、一部事務組合の効果的、効率的な事業の管理運営の実施を働きかけます。	A
	◇ 現在の一部事務組合の事務の共同化や新たな一部事務組合の必要性などについて検討・研究します。	企画情報課	消防について、平成30年4月から尾三消防組合・豊明市・長久手市の広域で運用しています。 今後も、近隣市等と情報を共有し、適時検討・研究していきます。	B
(2) 公共交通機関の広域的な連携	◇ 利用しやすいコミュニティバスとするため、コミュニティバスの市町間相互乗り入れについて検討・研究します。	未来プロジェクト課	今後も近隣市のコミュニティバスの相互乗り入れについて検討・研究していきます。	B
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	未来プロジェクト課	今後も東郷町地域公共交通会議を活用することで、委員である豊明市や日進市とともに検討し、公共交通ネットワークの充実を図ります。	A
(3) 広域的な連携による町民サービスの向上と行政運営の効率化	◇ 町民サービスの安定供給やサービスの向上のため、行政機関の共同設置や一部事務組合拡大設置を検討するとともに、救急医療体制の強化を始め、公共施設利用の共有化や火葬場の利用など、効率的な行背運営の観点からも、新たな広域連携を検討します。	企画情報課	新たな広域連携を進めるため、日進市・豊明市・みよし市・長久手市とともに、「尾三地区自治体間連携推進会議」を立ち上げ、広域課題について研究を進めています。 また、名古屋市緑区・天白区とも交流を始めています。	A

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.15点	重要度	0.9点	改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

6 財政の健全化を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 健全な財政運営に満足している町民の割合	%	7.1	13.0	18.0	11.3	59.2%	62.8%		△
ii 実質公債費比率	%	8.1	7.5	7.0	3.2	-60.5%	45.7%		◎
iii 財政調整基金の残高	億円	6.7	10.0	15.0	11.9	77.6%	79.3%	セントラル開発等、各種未来を担う重要施策を計画的に進めるにあたり、毎年度多額の取崩しを行っているため。	△
iv 収納率(町税全体)	%	93.8	94.3	95.0	98.3	4.8%	103.5%		◎
v 経常収支比率	%	89.5	85.0	80.0	89.1	-0.4%	111.4%	扶助費、公債費等の義務的な経常経費の削減が困難であるため。	×

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 自主財源の確保	◇ 広報・ホームページなどによる税情報のPRに努めます。	税務課	今後も継続して、広報・ホームページなどに税に関する情報を掲載し、住民への周知の役割を果たします。	A
	◇ 町税等における納期内の納税率向上を目指し、納税啓発に努め、効率的な催告手法を導入します。	収納課	これまでの納付方法に加え、平成30年度からクレジット収納を導入し、納税者の利便性の向上と納期内納付に努めていますが、利用者が少ないため、今後、利用者を増やすことが課題です。また、令和元年度からは収納率の低い法人町民税について、会社に臨戸訪問を行い収納率向上に努めます。	A
	◇ 公共施設の利用料金の見直しによる受益者負担の適正化を図ります。	生涯学習課	指定管理の更新の時期に合わせて利用料金の見直しを行っていきます。	A
	◇ 工場誘致に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	今後も支援制度を紹介するなど積極的に企業誘致に努めるとともに、現状の組織体系を見直し窓口を一本化するなど相談しやすい環境づくりに努めます。	B
	◇ 子育て支援施策、雇用施策などと連携しながら、定住人口の安定化を図ります。	企画情報課	平成28年3月に人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。また、令和元年度中に改訂を行い、今後の人口動向及び戦略について方向性を示します。	B
(2) 総合計画や行政評価と連動した予算編成	◇ 現在の枠配当予算の方式を検証し、より効果的な方法を検討します。	総務財政課	枠配当方式が10年継続したこともあり、当方式の効果等が形骸化したため、令和元年度予算編成から個別査定方式に切り替え、一層コスト意識を持った予算編成を実施しました。引き続き、創意工夫を発揮できる効果的な予算手法について検討していきます。	A
	◇ 行政評価や実施計画との連動をもとに、選択と集中による戦略的な予算編成を行います。	総務財政課	限られた財源の中で政策的な事業を進めていく必要があるため、引き続き、行政評価及び実施計画との連動を図り、真に必要な事業の優先順位を明確にすることで、選択と集中による戦略的な予算編成を行っていきます。	B
(3) 町有施設の長寿命化	◇ 学校や保育園園舎を始めとする既存施設等の老朽化に対応するため、限られた予算の中で、町有施設を有効利用するため長寿命化計画を作成します。	総務財政課	公共施設等総合管理計画の個別計画である施設の長寿命化計画を各担当部署で策定を進めています。その策定された個別計画を集約し、平準化した町全体の計画を策定していきます。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.14点	重要度	1.20点	重点改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 消防や救急の体制に満足している市民の割合	%	30.0	35.0	40.0	11.4	-62.0%	28.5%		×
ii 耐震性貯水槽設置数	箇所	20	23	25	22	10.0%	88.0%		△
iii 住宅用火災警報器の設置率	%	70.0	98.0	99.0	83.7	19.6%	84.5%		△

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 消防・救急体制の強化	◇ 尾三消防組合に対し、災害・消防・救急時の出動態勢等の機能強化を要請します。	安全安心課	広域化のスケールメリットを活かした出動態勢等の機能強化を要請します。	A
	◇ 町が設置したAEDを適正に使用できるように、普通救命講習の受講を進めます。	安全安心課	今後も救命率向上のため、町職員の普通救命講習の受講を進めます。	B
	◇ 住宅用火災報知器の設置を呼びかけるとともに、防災訓練の強化により防火意識の向上に努めます。	安全安心課	町ホームページ、地区の防災訓練や尾三消防本部が行う防火広報会等で、設置や取替えの呼びかけを今後も継続します。	B
	◇ 緊急車両の進入が困難な狭小道路の洗い出しを進めます。	安全安心課	狭隘道路の洗い出しを検討します。	D
(2) 消防団員の資質向上	◇ 消防団員、女性防災クラブ員が活動しやすいように待遇改善に努めます。	安全安心課	平成30年度に消防団活動交付金を創設し、待遇改善に努めました。	B
	◇ 尾三消防組合東郷消防署指導のもと、火災時に迅速な活動ができるように努めます。	安全安心課	今後も東郷消防署員の指導により、各種訓練を実施し、資質向上に努めます。	A
	◇ 消防団の資機材の適切な運用、整備に努めます。	安全安心課	今後も老朽化した資機材を更新し、適切な資機材の管理運用に努めます。	A
	◇ 消防団の活動をPRし、団員の確保に努めます。	安全安心課	今後も町主催イベント等で積極的に消防団のPR、募集啓発に努めます。	B
(3) 消防施設の強化	◇ 老朽化が著しい消防団詰所の改修または建て替えを進めます。	安全安心課	消防団詰所の建替え計画が決まり、令和2年度から順次建て替え工事を実施します。	A
	◇ 耐震性貯水槽の新設及び既設無蓋防火水槽の有蓋化に努めます。	安全安心課	今後も補助金を利用し、耐震性貯水槽の新設を進めます。	C
	◇ 消防水利の整備を推進します。	安全安心課	今後も消防水利の新設及び改修を計画的に実施します。	C

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.54点	重要度	1.40点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 防犯対策に満足している町民の割合	%	28.1	34.0	39.0	29.3	4.3%	75.1%		△
ii 交通安全対策に満足している町民の割合	%	19.7	25.0	30.0	25.2	27.9%	84.0%		○
iii 普段から防犯に心がけている町民の割合	%	63.9	69.0	74.0	65.1	1.9%	88.0%		△
iv 人口100人当たり交通事故(人身事故)件数	件	0.72	0.57	0.47	0.3	-54.2%	70.2%		◎

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 警察・行政・地区・学校などの連携体制の強化	◇ 不審者等の情報を地域・学校などで共有し、パトロールや広報活動を実施するなど、地域の防犯意識の向上に努めます。	安全安心課	不審者情報等を緊急メールで送信し、各地区青パトに巡回強化の依頼を行います。	A
	◇ 自主防犯団体の活動を支援します。	安全安心課	今後も、自主防犯団体の活動を支援し、町内の保育園での連れ去り防止教室の推進に努めます。	B
	◇ 交通違反者に対する指導及び取締りの強化について、警察に要請します。	安全安心課	警察と共同し、交通安全啓発活動を行い、必要に応じて取締り強化を要請します。	C
(2) 防犯灯などの充実	◇ 安全で住みよいまちをつくるため、防犯灯の点検に努めます。	安全安心課	今後も、防犯灯の点検を実施し、安全安心な環境整備に努めます。	B
	◇ 安全な環境を確保し、犯罪を未然に防ぐため、防犯灯整備が不十分な地域について、順次整備するよう努めます。	安全安心課	各地区、区・自治会から出された要望書を精査し、必要に応じて整備を行います。	A
(3) 交通安全町民意識の向上	◇ 高齢者ドライバーの増加、飲酒運転や無謀運転など規範意識が低下しているため、交通安全啓発活動を推進し、自己の未然防止に努めます。	安全安心課	交通安全教室をはじめ、警察と民間企業と共同し、イベントなどで交通安全啓発活動を実施します。	A

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

防犯対策

項目	点数	項目	点数
満足度	0.17点	重要度	1.36点

交通安全対策

項目	点数	項目	点数
満足度	0.06点	重要度	1.31点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
継続推進分野

総合分析
継続推進分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

3 災害に強いまちをつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 地震や風水害などの防災対策に満足している町民の割合	%	10.2	16.0	21.0	15.3	50.0%	72.9%		△
ii 地震や風水害などの災害に備えている町民の割合	%	35.5	41.0	46.0	39.7	11.8%	86.3%		△
iii 東郷町防災訓練の実施回数	回/年	0	1	1	1	－	100.0%		◎
iv 耐震性のある住宅の割合	%	86.0	90.0	93.0	82.9	－3.6%	89.1%	耐震化に要する費用負担が大きいなど全国的にも進んでいないため。	×

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 安心できる住宅の整備	◇ 宅地の安全性を確保するため、大規模盛土造成地の詳細調査を実施します。	都市計画課	県から大規模盛土造成調査の意向確認があり、1.5次スクリーニングとして造成年代調査の実施を計画しています。	C
	◇ 耐震診断を促進するため、専門家を派遣し耐震診断を実施します。	都市計画課	耐震診断事業を今後も継続します。耐震診断件数を増やすための啓発を行います。	B
	◇ 木造住宅の耐震改修費用の一部を補助します。	都市計画課	耐震改修事業を今後も継続します。耐震改修の件数を増やすため、診断実施者に向け啓発を行います。耐震診断と異なり、改修工事の際の自己負担も大きくなるため、診断後に必ずしも改修に繋がるわけではありません。	B
(2) 防災訓練の実施	◇ 地域防災計画に基づき、地区と職員による合同防災訓練を実施します。	安全安心課	平成26年度から町職員と住民の協働による総合防災訓練を実施しています。	B
	◇ 各区・自治会で避難所開設訓練が実施されるよう支援します。	安全安心課	今後も避難所開設を主眼に置いた総合防災訓練を実施していきます。	A
	◇ 各種の訓練を通じて、町民の防災意識の向上や自主防災組織の体制強化を図ります。	安全安心課	今後も各地区防災訓練に町職員が参加し、自主防災組織の体制強化に努めます。	B
(3) 災害活動拠点の整備	◇ 町防災倉庫の改修及び避難所への防災倉庫設置を進めます。	安全安心課	平成30年度には小中学校9校に防災倉庫設置が完了しました。	A
	◇ 災害時のライフラインを確保するため、関係機関と協定を締結します。	安全安心課	関係機関との協定締結について実施を引き続き検討します。	B
	◇ 災害時用備蓄品を計画的に整備します。	安全安心課	今後も備蓄計画に基づき、計画的な入替えを継続していきます。	A
(4) 災害時伝達手段の整備	◇ 東郷町防災行政無線のデジタル化を実施します。	安全安心課	平成26年度から町防災行政無線をデジタル化に移行しました。	A
	◇ 各避難所や消防団との通信手段の整備に努めます。	安全安心課	各小中学校に設置しているMCA子局無線に加え、平成30年度には町内の避難所全28箇所に事前設置型公衆電話を設置しました。	A
	◇ 高度情報通信ネットワークの適切な運用に努め、国や県と情報を共有化します。	安全安心課	職員研修を通して高度情報通信ネットワークの適切な運用を図れるようにします。また、令和元年度に市町村防災支援システムを導入したことで、より早い情報共有を行えるよう努めます。	B
(5) 河川の治水機能強化と施設の維持管理	◇ 準用河川を始め、排水路の計画的な整備に努めます。	建設課	準用河川をはじめ、排水路の定期的な浚渫や草刈りにより整備に努めているところです。今後も継続していきます。	B

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	0.02点	重要度	1.29点	継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

4 安心して消費生活が送れる体制を整える

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 消費者保護対策に満足している市民の割合	%	4.5	10.0	15.0	9.3	106.7%	62.0%		×
iv 消費生活相談実施回数	回/月	2	4	8	8	300.0%	100.0%		◎

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 消費者支援の充実	◇ 消費者問題に対する啓発を行うとともに、消費生活講座等を開催します。	地域協働課	消費者問題に関する啓発を行うとともに、くらしの講座及び消費生活講演会等を実施し消費者への啓発に努めていきます。	A
	◇ 消費生活相談の実施日数を拡大するなど、充実を図ります。	地域協働課	今後は消費生活相談状況等を確認しながら実施日数の拡大について検討していきます。	A
(2) 消費者活動の支援	◇ 消費者団体の育成を支援します。	地域協働課	引き続き消費者団体の育成を支援していきます。	A
	◇ 消費者活動への支援を行います。	地域協働課	引き続き消費者活動への支援を実施していきます。	A

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.01点	重要度	0.8点	改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 自然環境の保全や創出に満足している町民の割合	%	20.2	26.0	31.0	14.6	-27.7%	47.1%		×
ii 公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合	%	16.3	21.0	27.0	12.9	-20.9%	47.8%		×
iii 親水公園数	箇所	2	3	4	2	0.0%	50.0%	親水公園に適したため池を選定しているため。	×
iv 狂犬病予防注射接種率	%	72.2	76.0	80.0	79.1	9.6%	98.9%		○

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 水辺環境の保全整備	◇ 愛知池、境川緑地、親水公園を魅力ある水辺環境として整備及び維持管理し、町民の憩いの場とします。	都市計画課	愛知池では平成29年度に植樹祭を行いました。境川緑地及び親水公園については、草刈りを定期的に行い水辺環境の維持管理を行っていきます。	B
	◇ ため池を活用した親水公園を整備します。	都市計画課	平成26年度に押草下池にポケットパークを設置しました(条例には定めていません。)。市街化区域内及びその周辺地域のため池を中心に整備場所を検討します。	C
	◇ 河川を利用したウォーキングロードを整備します。	建設課	東郷中央土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、春木川沿いにウォーキングロードを整備します。今後も利用者の安全対策として転落防止柵の設置を検討します。	B
(2) 環境学習の推進	◇ 子どもたちが環境にやさしい活動を主体的に行い、人と環境の関わりについて学ぶ場を提供します。	環境課	環境学習の場として、こどもエコぱんぱくや境川生きものウォッチングを開催しています。今後も子どもたちの興味を引き付ける内容の環境学習講座や環境イベントの充実を図ります。	B
	◇ 緑や生きものなどの自然にふれあうことのできる機会を提供します。	環境課	境川生きものウォッチングを開催し、川の生きものを調べています。今後も継続していきます。	B
(3) 環境保全対策の推進	◇ 公害の発生源である事業者に対する監視・指導を強化するとともに、生活型公害に関する啓発活動を推進し、快適な生活環境の維持に努めます。	環境課	事業者の監視・指導や生活型公害の啓発を行っています。今後も継続して啓発を続けます。	B
	◇ 河川の水質調査、水生生物調査により、河川環境を定期的に把握しながら、水質浄化に対する意識の向上に努めます。	環境課	河川の水質調査、境川生きものウォッチングを行っています。今後も河川の定期的な水質調査を行い、広報等による水質浄化の啓発を継続していきます。	B
	◇ 合併処理浄化槽の設置に対して補助することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。	環境課	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助を行っています。今後も広報等による補助制度の周知を継続していきます。	B
(4) 環境衛生対策の推進	◇ 犬の飼い方教室の開催や、適正な飼育方法の啓発などを通じて、飼い主のモラルの向上に努めます。	環境課	犬の飼い方教室を開催し飼い主に対しマナー啓発を行っています。今後も継続していきます。	B
	◇ 犬の登録や狂犬病予防注射の実施を啓発し、無登録犬の減少を図るとともに、狂犬病を未然に防止します。	環境課	狂犬病予防法に基づく犬の登録事務や集合注射を実施しています。今後も広報等による狂犬病予防注射の啓発を継続していきます。	B

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

i 自然環境の保全や創出に満足している町民の割合

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.01点	重要度	0.89点

総合分析
改善分野

ii 公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合

項目	点数	項目	点数
満足度	0.00点	重要度	1.02点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしい暮らしのあるまち

6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが
現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 普段から省エネを心がけている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	68.1	8.8%	93.3%		○
ii 公共交通機関を利用するようにしている町民の割合	%	20.7	26.0	31.0	18.2	-12.1%	58.7%		×
iii 東郷版ISO認定家族数	家族	267	400	500	394	47.6%	78.8%		△

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 地球温暖化対策の推進	◇ 町民一人ひとりが、地球温暖化防止対策の重要性を認識し、家庭・学校・地域において温室効果ガスの削減に配慮した行動を実践できるよう支援します。	環境課	レジ袋削減の取り組みや東郷版ISOチャレンジ100の普及・啓発をしています。今後も広報等による啓発を行うとともに、世情に合わせた新たな取り組みを検討していきます。	B
(2) 東郷町エコプランの推進	◇ 役場も自らが温室効果ガスの大きな排出事業者の一つであるという認識のもと、エコプランに基づき、庁内における温室効果ガス排出量の削減を図り、率先して排出抑制に取り組みます。	環境課	東郷町エコプランを推進しています。今後も職員一人ひとりへの環境教育を徹底します。	B
(3) 自然エネルギーの利用促進	◇ 環境への負荷が少ない自然エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムや太陽熱利用温水器の普及を進めます。	環境課	地球温暖化対策設備導入促進費補助を行っています。今後は、現行の補助制度について見直しを検討するとともに、新たな補助制度について検討します。	B
(4) エコモビリティライフの推進	◇ 公共交通を利用するエコモビリティライフの実現に向けて積極的に取り組みます。	環境課	環境学習イベント等においてエコモビリティライフを普及・啓発します。	C
	◇ 公共交通中心の移動手段を推進するエコモビリティライフを普及・啓発します。	環境課	環境学習イベント等においてエコモビリティライフを普及・啓発します。	C

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.02点	重要度	0.95点	重点改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 普段からリサイクルに心がけている市民の割合	%	63.4	69.0	74.0	72.3	14.0%	97.7%		○
ii 処理しなければならないごみの量(1人1日当たり)	g	756	740	720	742	-1.9%	103.1%		△
iii 資源化率	%	18.0	20.0	22.0	15.4	-14.4%	70.0%	・民間の資源回収場所が充実してきていることにより、町で把握できる資源回収量が減少傾向にあります。 ・平成29年10月から不燃ごみを資源ごみとして回収していますが、資源量として算入されていません。	×

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 3Rの推進	◇ 限りある資源や物の大切さなどの意識向上を図り、3R活動を推進します。	環境課	エコばんぱくなどの環境学習の機会や全戸配布するごみと資源の分け方・出し方パンフレットを通じて、更なる意識向上に努めます。	B
	◇ リサイクルを推進するため、資源回収ができる場所の造設や資源として回収する品目の拡大などを進めます。	環境課	町の資源回収ステーションのみでなく、民間の資源回収場所が充実してきていますので、それらを積極的に活用していただけるよう連携やPRに努めていきます。	B
(2) ごみ・し尿の適正処理	◇ ごみの排出に関する正しい知識の普及啓発に努めます。	環境課	地域の実情に合わせた啓発活動の他、エコばんぱくなどのイベントを通じて子育て世代に正しい知識の普及啓発に努めます。	C
	◇ ごみの分別の徹底や減量化を通して、ごみの適正処理を推進します。	環境課	平成29年10月に不燃ごみを資源ごみとして分別して回収するようにしたほか、水切り袋の配布などごみの減量化に向けた地道な努力を継続させます。	B
(3) まちの環境美化と不法投棄対策の推進	◇ 清潔な生活環境を保持するため、ごみのポイ捨てや不法投棄に対する監視体制を強化し、環境美化意識の向上に努めます。	環境課	廃棄物減量等推進員や不法投棄パトロール員を効果的に活用し、町内の環境美化に努めます。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.40点	重要度	1.13点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

1 地産地消により農業の活性化を目指す

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 地産地消の推進に満足している町民の割合	%	11.4	17.0	22.0	18.1	58.8%	82.3%		○
ii 農業の活性化対策に満足している町民の割合	%	7.5	13.0	18.0	11.8	57.3%	65.6%		△
iii 地元の農産物を購入したいと思っている町民の割合	%	52.7	58.0	63.0	41.3	-21.6%	65.6%		×
iv 認定農業者数	人	6	8	10	7	16.7%	70.0%	当初の目標計画を達成し、認定農業者から外れ、基本構想水準達成農業者となった方が4名いるため。	△
v 農学校受講者数(1年間)	人	17	20	25	22	29.4%	88.0%	目標値が定員数を超えて設定されているため。	○

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 担い手及び新規就農者の育成	◇ 地域の担い手等への農地の利用集積、拡大を進めます。	産業振興課	担い手への農地の集積集約のために農地中間管理機構の活用を検討していきます。	C
	◇ 農業経営が効率的に行われるよう支援します。	産業振興課	農業経営の効率化には農地の集積が必要であると考え、農地中間管理機構の活用を検討してまいります。また、農業経営の安定のため各種補助事業の案内を行ってまいります。	C
	◇ 農学校を運営し、新規就農者を育成します。	産業振興課	開設からおよそ10年を迎え、毎年1名ほど就農者を輩出しています。これからも地域を担う農業者を輩出できるように努めていきます。	B
(2) 生きがい農業の実践	◇ 農学校を通じて、定年退職者等多様な農業者を育成します。	産業振興課	受講者の受け入れは20歳以上70歳以下と幅広く受け入れ、多様な農業者を輩出できるように努めています。	B
(3) 特産品の開発	◇ 農産物の特産品を開発し、農業の活性化を図ります。	産業振興課	商工会に対し特産品開発の補助を行っており、東郷町産の農作物を使用した特産品が開発されています。	B
(4) 地産地消の推進	◇ 学校給食の食材選定に当たっては、できる限り地元食材を活用します。	給食センター	今後も定期的に地元食材の提供を行ってまいります。また、使用する地元食材の種類、提供回数の増加に努めます。	B
	◇ 地産地消を推進するため、農産物直売所の設置を進めます。	産業振興課	東郷軽トラ市を開催するなど販売場所の提供を行っている。直売所の設置は行っていないが、販売ルートの確保について検討しています。	C

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

地産地消の推進

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.77点

農業の活性化対策

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.03点	重要度	0.68点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

総合分析
改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 働く場や機会に満足している町民の割合	%	5.6	11.0	16.0	11.4	103.6%	71.3%		○
ii 商工業の活性化対策に満足している町民の割合	%	5.8	11.0	16.0	9.5	63.8%	59.4%		△
iii 新しく誘致できた企業数	社	0	3	6	10	-	166.7%		◎

①「達成度」の評価区分

- ◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 商業施設の立地促進	◇ 春木・和合地内における新たな区画整理事業により、商業用地を創出し、商業施設を誘致します。	セントラル開発課	令和2年秋のららぽーとの開業に向け、三井不動産(株)との調整を継続的に実施します。	A
(2) 町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導するため、工場の誘致、工業系土地利用の推進に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	引き続き諸輪東部開発委員会と情報の共有を図るとともに、工場立地の相談の際に支援制度などを紹介し新たな産業拠点の形成を誘導に努めます。	B
	◇ 既存産業の振興を図るため、国や県の施策と連携しながら、新技術・新製品開発などの技術革新の支援、次世代産業への参入の支援を行います。	産業振興課	引き続き諸輪東部開発委員会と情報の共有を図るとともに、工場立地の相談の際に支援制度などを紹介し新たな産業拠点の形成を誘導に努めます。	B
(3) 特産品の商品化への支援	◇ 商工会、農協、農業者等と連携し、現在開発している特産品を商品化し、町の主要な小売店及び全国に販売できるシステムを検討します。	産業振興課	商工会、農協、農業者等と連携し、特産品開発を進めております。また、ふるさと納税を活用して、全国で入手可能なシステムを実施しています。	B
(4) 新たな産業を担うNPO等の育成	◇ 新たな産業としてのコミュニティビジネスを担うNPO等を育成します。	産業振興課	本町の実態に合ったコミュニティビジネスを模索し、関係課と連携してまちづくり会社の育成に努めます。	C

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

働く場や機会

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.15点	重要度	0.96点

総合分析
重点改善分野

商工業の活性化対策

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.18点	重要度	0.85点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

3 魅力ある市街地を整備する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 開発による住宅地の整備に満足している町民の割合	%	12.6	18.0	23.0	16.7	32.5%	72.6%		△
ii 東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	66.5	6.2%	91.1%		△
iii 住居系市街化区域面積	ha	505	545	555	539	6.7%	97.1%		○

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 秩序のあるまちの形成	◇ 土地の合理的かつ友好適切な利用の調整を図ります。	企画情報課	必要に応じて土地対策会議を開催し、町意見を取りまとめて土地利用の調整を図っています。	A
	◇ 集落地の住環境の改善を図るため、公共施設の整備・誘導を図ります。	建設課	地区の要望により、公共施設(道路等)の整備を進めています。今後も継続します。	B
(2) 中心核の形成	◇ 土地区画整理事業により、中心核の形成を誘導します。	セントラル開発課	令和5年度の事業完了に向け、土地区画整理事業が円滑に進むよう、土地区画整理組合との連絡調整を密に行うとともに、指導・監督を適切に行います。	B
(3) 新たな産業拠点の形成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導します。	産業振興課	今後も支援制度を紹介するなど積極的に企業誘致に努めるとともに、現状の組織体系を見直し窓口を一本化するなど相談しやすい環境づくりに努めます。	B
(4) 墓地・火葬場の整備	◇ 今後の動向に応じ、広域的な観点も考慮しながら墓地や火葬場の整備のあり方を検討します。	企画情報課	近隣自治体の状況を把握し、連携等による問題解決の方法を模索します。	C
		環境課	整備、運営の手法等について先進事例など調査・研究を進めます。	C

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.06点	重要度	0.63点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 公園や緑地の整備に満足している市民の割合	%	31.6	37.0	42.0	24.6	-22.2%	58.6%		×
ii 近くの公園や広場などを利用している市民の割合	%	21.7	27.0	32.0	21.5	-0.9%	67.2%		×
iii 公園愛護会登録団体数	団体	制度開始	14	28	19	-	67.9%	高齢化が進み、活動の維持が困難となっているため。	○

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理	◇ 協働による地域密着型の公園・緑地を整備します。	都市計画課	上城保育園跡地を公園化に向けて取り組んでいます。	C
	◇ 既存公園の適正な維持管理を行うとともに、地域のボランティアなどに公園愛護思想の普及を進めます。	都市計画課	高齢化が進み団体数は減ってはいるものの、自治会と協力し普及を進めていきます。	B
	◇ 維持管理について、指定管理者制度の導入を検討します。	都市計画課	東郷町ふれあい広場、榊池親水公園において導入済(H30～R4)	A
	◇ 子どもから高齢者まで誰もが楽しめる施設整備を図ります。	都市計画課	老朽化した設備が多く、新たな施設設備の整備は困難であるため、維持管理に努めていきます。	C
(2) 緑化の推進	◇ 緑豊かな街並みを形成するため、公共施設や公共空地の緑化を推進します。	都市計画課	緑の募金を活用し地区施設や公共施設の緑化を推進していきます。	A
	◇ 民有地の緑化を推進するため、市民の緑化運動の推進と自然環境保全意識を向上させます。	都市計画課	県の緑化補助金を活用し、民有地の緑化を推進していきます。(実績: H27,H29)	B
	◇ 緑の募金運動を拡充します。	都市計画課	平成28年より募金額は減少傾向にあるため、増加させるための方法を検討していきます。	C
	◇ 植樹活動を展開します。	都市計画課	平成29年に植樹祭を行いました。新たに植樹する場所の検討をしていきます。	B
(3) 水と緑のネットワーク構想の推進	◇ 財政状況に応じて、整備を推進します。	都市計画課	財政状況が厳しく、新たな整備は困難です。	D
	◇ 推進に向け、河川管理者や愛知用水など関係機関と調整を図ります。	都市計画課	前川散策道の草刈や犬のしつけ広場の管理等を東郷町グリーンベルトを考える会とともに行っています。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.02点	重要度	0.98点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
重点改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

5 美しい街並み景観のあるまちをつくる

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 町民農園開設箇所数(個人開設)	箇所	2	4	6	4	100.0%	66.7%	個人農園の設置は民間意欲次第であるため。	○

①「達成度」の評価区分
◎:令和2(平成32)年度目標数値達成
○:平成27年度中間目標達成
△:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×:現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 住宅地の街並み形成	◇ 地区の特性に合わせ、地区計画制度などを活用し、住宅地などのゆとりとるおいのある景観の形成を推進します。	都市計画課	セントラル開発に合わせ、セントラル地区計画を新設し、住宅の緑化やゆとりある住環境の形成に向けて地区計画を運用している。また今後にも必要に応じて地区計画を新設する場合も景観に配慮した内容を加味していけるよう検討していく。	B
	◇ 町民主体による公園コンクールの実施等、町民パワーを活用した美しい街並みづくりを検討します。	都市計画課	平成26年度に文化産業まつりにおいて「ガーデンコンクール」を開催しました。	C
(2) 農地の景観保全	◇ 耕作放棄地を利用した農園の開設を支援します。	産業振興課	耕作放棄地で農園を開設したいという相談が全くない状況である。耕作放棄地の対策は農園の開設に限らず、有機農業者の誘致等様々な手段で行えるように検討していきます。	D
	◇ 市街化区域の遊休農地について、所有者に草刈等適正な維持管理を周知するとともに、周囲の環境に適合した都市的土地利用を推進するよう啓発します。	産業振興課	耕作放棄地となっていると連絡があった場合は適宜地権者に連絡を行っている。今後にも必要な周知啓発を行っていきます。	B
		都市計画課	今後とも土地利用の相談があった際には東郷町開発行為及び土地利用に関する条例等を基に適正な利用を啓発していきます。	B
(3) 良好な景観の維持	◇ 良好な景観を維持するため、屋外広告物条例で定める大きさ・デザインとなるよう指導に努めます。また、違反屋外広告物の簡易除去やパトロールを充実させます。	都市計画課	今後も屋外広告物条例に基づき適正な管理を行っていきます。許可期限の切れている申請者に対し、更新案内を実施していきます。	C
	◇ 伝統的風景や古木・大樹などの維持・保存活動を支援します。	生涯学習課	今後も町指定文化財の樹木については、愛知県緑化推進委員会のふるさと樹木診断を定期的に実施できるよう希望していきます。 また、剪定等保存に関する費用について補助を行い、保存活動を支援していきます。	B

②「達成度」の評価区分
A:十分に達成している
B:まあまあ達成している
C:あまり達成していない
D:まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.17点	重要度	0.85点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

6 安心して通行できる道路網を整備する

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 道路の整備に満足している町民の割合	%	23.5	29.0	34.0	16.0	-31.9%	47.1%		×
ii 歩車道境界の段差解消箇所数	箇所	4	28	48	47	1075.0%	97.9%		○
iii 通学路総点検実施小学校区数	地区	2	6	6	9	350.0%	150.0%		◎

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 都市計画道路の整備	◇ 土地区画整理事業に合わせ、都市計画道路名古屋春木線を整備します。	セントラル開発課	区画整理事業区域内の区間について、引き続き、社会資本整備総合交付金を活用し、令和2年度中の供用開始に向け、事業を推進します。 また、土地区画整理事業が円滑に進むよう土地区画整理組合との連絡調整を密にするとともに、指導・監督を適切に行います。	B
		建設課	東郷中央土地区画整理事業の進捗に合わせて、愛知県が東郷中央土地区画整理地区外の整備を行っています。今後も当該路線の整備を継続して愛知県に要望します。	B
(2) 歩行者にやさしい道路整備	◇ 安全に歩行者が通行できるように歩道、道路の整備を促進します。	建設課	定期的に町内パトロールを行うことで、早急に歩道及び道路の危険を察知し、対応しているところです。今後も継続します。	B
	◇ 歩行者が安心して通行できるように歩道の縁端部の段差解消を促進します。	建設課	地区要望等も考慮しながら優先順位をつけて、工事を実施しています。今後も継続します。	B
	◇ 通行に支障がある箇所を把握するため、小学校区単位で交通安全総点検を実施します。	学校教育課	支障箇所の対応については、人的面や道路のハード面等様々な対応が必要となり、各課の連携が必須となります。今後も通学路の安全確保に努め、各課連携し点検を実施していきます。	B
(3) 暮らしやすい道路の形成	◇ 狭小道路の解消のため、地区計画道路の整備を推進します。	建設課	建築等により後退用地が生じる際に地権者から後退用地の寄附をいただき、整備を進めているところです。今後も継続して実施します。	B
	◇ ボトルネック交差点を改善します。	建設課	神ノ木交差点や大坂交差点に右折レーンを設置することで、渋滞の解消に努めます。	B
	◇ 自転車専用道や専用通行帯を整備します。	建設課	対象路線として、路肩幅員が1.5m以上であり、自転車の利用が多い路線について検討します。	C
	◇ 計画的に舗装を修繕し、ライフサイクルコストの縮減に努めます。	建設課	地区や住民要望については、優先順位をつけることで、計画的に工事を行い、ライフサイクルコストの縮減に努めているところです。今後も継続します。	B
	◇ 夜間の道路交通の安全確保のため、道路照明灯の定期的な点検に努めます。	建設課	定期的な点検を実施するとともに、道路照明灯をLEDに取替え、夜間の道路交通の安全確保に努めました。今後も定期的な点検を継続します。	B
(4) 幹線道路の整備	◇ 自動車交通を円滑にするため、関係機関に整備促進の要望を積極的に行います。	建設課	地区や住民要望により、関係機関への調整が必要な際には、整備促進の協議に努めているところです。今後も継続します。	B
	◇ 計画道路の整備については、優先順位や費用対効果を考慮して実施します。	建設課	東郷中央土地区画整理事業の進捗に合わせて、愛知県に優先して都市計画道路名古屋春木線を整備するよう要望しています。今後も当該路線の整備を継続して愛知県に要望します。	B

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.33点	重要度	1.17点	重点改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

7 公共交通の利便性を高める

①「達成度」の評価区分
◎: 令和2(平成32)年度目標数値達成
○: 平成27年度中間目標達成
△: 平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×: 現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i バスなどの公共交通機関の整備に満足している市民の割合	%	15.8	21.6	26.0	13.4	-15.2%	51.5%		×
ii 巡回バス利用人数	人	127,688	140,000	154,000	179,805	40.8%	116.8%		◎

②「達成度」の評価区分
A: 十分に達成している
B: まあまあ達成している
C: あまり達成していない
D: まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 巡回バスの充実と公共交通の利用促進	◇ 市民ニーズを正確に把握し、路線延長・変更等を行い、サービスの向上を図ります。	未来プロジェクト課	大規模病院や鉄道駅へのアクセス等、市民ニーズはもちろん、セントラル開発によるららぽーと開業及びバスターミナル整備や高齢化による高齢者の免許証返納者増加などの環境変化とあわせ、路線再編を行う必要があります。	A
	◇ 地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進します。	未来プロジェクト課	今後も地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進していきます。	A
	◇ バス及びバス施設のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。	未来プロジェクト課	現在もノンステップ仕様となっていますが、バスを更新する場合は、ユニバーサルデザイン化、バリアフリー化を推進していきます。	A
	◇ 公共交通の利用を促進するため、車に頼らないライフスタイルへの転換やエコ通勤などを普及・啓発します。	環境課	広報等による啓発を行うとともに環境学習イベント等においてエコ通勤等を普及・啓発します。	C
(2) 近隣市との連携、広域的な交通手段の充実	◇ 公共交通機関を利用し、近隣市との連携の充実を図ります。	未来プロジェクト課	尾三地区広域公共交通推進会議を活用し、近隣市との連携について研究していきます。	B
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	未来プロジェクト課	今後も地域公共交通会議を活用することで、委員である豊明市や日進市とともに検討し、公共交通ネットワークの充実を図ります。	A

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	-0.57点	重要度	1.27点	重点改善分野	

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める

①「達成度」の評価区分
◎：令和2(平成32)年度目標数値達成
○：平成27年度中間目標達成
△：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		実績値	増加率	達成率	目標値が達成できそうもない理由	達成度
		H23年	H27年	R2(H32)年	H30年				
i 下水道の整備に満足している市民の割合	%	38.8	44.0	49.0	28.0	-27.8%	57.1%		×
ii 水洗化率	%	84.3	85.0	90.0	94.2	11.7%	104.6%		◎
iii 公共下水道供用面積(市街化区域)	ha	440.4	501.3	516.0	494.7	12.3%	95.9%		△

②「達成度」の評価区分
A：十分に達成している
B：まあまあ達成している
C：あまり達成していない
D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 水洗化の推進	◇ 供用区域の水洗化率向上のため、啓発活動を推進します。	下水道課	供用開始から一定期間を経過した地区の下水道への未接続者に対し、文書送付や戸別訪問により下水道への接続のPR活動を実施し水洗化率の向上を図っています。今後も継続します。	A
(2) 市街化区域の下水道整備	◇ 下水道未整備地区を解消し、下水道を利用できる環境整備を促進します。	下水道課	白土地区の一部を始め、未整備地区の整備を実施していきます。	B
(3) 下水道の維持管理	◇ 長寿命化計画に基づき耐用年数を考慮に入れた計画を策定し、実施します。	下水道課	既に整備した管渠等の設備について、安定した下水道経営も考慮し、計画的に施設の老朽化対策を図っています。今後も計画的に実施していきます。	B
(4) 上水道の安定供給	◇ 愛知中部水道企業団に対し、老朽施設の更新や耐震補強整備を要請します。	下水道課	愛知中部水道企業団に対し、地震等の災害時にも安定して水道水の供給ができるように老朽化した施設等の更新や耐震化整備について、引き続き要請をしていきます。	B
	◇ おいしく安全な水を安定供給していくため、アクア・シンフォニー計画を推進します。	下水道課	愛知中部水道企業団が策定したアクア・シンフォニー計画の推進について、今後も継続して要請していきます。	B

③ 「住民意向調査(H30年度実施)」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析	
満足度	0.13点	重要度	1.01点	継続推進分野	

※満足度及び重要度は加重平均点